

京北地域小中一貫教育校検討協議会だより

～子どもたちの未来のためにより良い教育環境を目指して～ 第2号

京北自治振興会・6自治会・4校PTA代表者等で組織する「検討協議会」が発行しています。

第2回京北地域小中一貫教育校検討協議会を開催

協議の概要について

7月21日（木）、京北合同庁舎で第2回「京北地域小中一貫教育校検討協議会」を開催しました。今回は、オブザーバーとして、北桑田高校校長、3保育所長、右京区役所京北出張所長にも御出席いただきました。

会議では、各学校長から京北地域4小中学校の現在の取組状況について説明後、教育委員会から京北地域小中一貫教育校教育構想素案や施設整備の方向性、子どもたちの通学状況等について説明があり、協議を行いました。

教育構想素案について

まず、4小中学校校長から、各校での取組や現状の課題認識が示され、各校とも「現在も、地域・保護者等の協力のもと教職員が工夫をしながら教育活動を展開しているが、学校規模が小さく限界もあり、統合によって一層活発な教育活動の展開が可能となることを期待している」という旨の説明がありました。

続いて教育委員会から、サマースクール等を活用し、3小学校の子どもたちが混じったグループ学習やクラス分け授業の体験など授業交流の促進をはじめ、保育所、府立北桑田高校との一層連携した取組など、今からできることは積極的に取り組む。また、統合後は「施設一体型小中一貫教育校」として、京北の豊かな自然や歴史、文化等を活かした特色ある取組をさらに充実・発展させ、確かな学力を培い、京北地域から未来を切り拓く子どもを育成したいと説明がありました。

出席者から、「クラス編成の基準」等について質問があり、教育委員会から、「国や市基準に満たなくても、ある程度の児童生徒数が確保できれば、教員加配で複数学級の編成を検討する」との説明がなされました。

施設整備の方向性について

4小中学校の敷地条件に鑑み、「周山中学校敷地が最も広く、京都市立中学校最大の面積を誇る」、「既存グラウンドに新築する場合、工事による生徒の教育活動への影響が最



第2回検討協議会の様子 <7/21（木）19:30～20:55>

も少ない」、「隣接する元周山小学校敷地も合わせて活用が可能である」ことから、周山中学校敷地を施設整備計画候補地とすることについて、出席者からの異論なく確認されました。

今後、「施設整備検討部会」を立ち上げ、検討協議会メンバーのほか、3保育所保護者会長や4小中学校PTA本役員若干名、各学校教職員若干名にも参画いただき、施設整備に係る第1回ワークショップを9月初旬頃に開催する予定であることも示されました。

子どもたちの通学安全について

教育委員会から、通学方法の基本的な考え方として、統合により、遠距離となる児童について、教育活動に支障がないよう公費負担により登下校に必要なバスは確保するとの説明がありました。

出席者からは「歩道がない道路の状況等を踏まえ、子どもの安全が確保できるよう通学方法を検討すべき」との意見が出され、教育委員会から、今後「通学安全検討部会」でしっかりと保護者や地域の方からの意見を踏まえて協議しながら丁寧に検討していきたい旨の回答がありました。

その他

前回の検討協議会で確認されました子どもたちの学校生活に関わる課題等について検討する「4小中学校PTA会長・3保育所保護者会長会」が、8月に発足するとの報告がありました。

また、次回の「第3回検討協議会」は、9月下旬頃に開催する予定です。

ご意見やご質問などがありましたら、各学校又は京北自治振興会までお寄せください。

- 京北第一小 TEL 852-0026 FAX 852-1600 e-mail keihoku1-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第二小 TEL 853-0002 FAX 853-7100 e-mail keihoku2-s@edu.city.kyoto.jp
- 京北第三小 TEL 854-0244 FAX 854-0256 e-mail keihoku3-s@edu.city.kyoto.jp
- 周山中 TEL 852-0053 FAX 852-0090 e-mail shuzan-c@edu.city.kyoto.jp
- 京北自治振興会 TEL 852-0001 FAX 852-1838

※検討協議会事務局＝京北自治振興会事務局・京都市教育委員会学校統合推進室